



2023年度 ことりぐみ



クラスだより

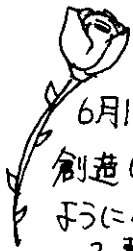
敦賀教会幼稚園

園長 有岡史季

6月23日発行

執筆者 渡菜々子

色鮮やかなあじさいが咲き始める季節になりました。不安定な天候が増えてきますが、教室で制作活動に集中したり、好きな遊びをじっくり楽しんだり、ホールでは伸び伸びと身体を動かしたり... 天候に左右されることなく元気な子どもたちです。年中思の生活にもすっかり慣れ、次にある行動を自分で考えることができる姿が多く見られるようになりました。また、異年齢児との交流も増え、更にお兄さん・お姉さんらしさを發揮しています。いちご組と合同で遊んだ際には「水で遊ぶ?」「このおもちゃはこうやって使う」と優しく声を掛けて一緒に遊ぶ姿が見られました。他にも、たんぽぽ組と合同で園外保育に行った際には、たんぽぽ組の友だちと手を繋ぎ行き帰りの道中、元気よく引張、てくんだり、鯉やダンゴムシの生き物と一緒に観察したり... 小さいクラスの友だちに優しく関わる姿から相手を思いやる気持ちが育っていることを感じます。とは言えまだ「まだ」成長途中... 時には、「見てほしい・認めてほしい」という気持ちも多く見られます。出来たことをたくさん褒め、挑戦しつづける気持ちを受け止め、支えています。これから子どもたちのありのままの姿を受け止め、自分らしさが更に發揮できるよう見守っていきたいと思います。



花の日礼拝



6月12日には、花をまかせとして、1つ1つの花を美しく創造してくれたことに神さまに感謝し、私たちも同じように命を与えられ、愛されている中で成長できている喜びを分かち合う花の日礼拝をお捧げしました。それぞれの家庭から持ち寄った花で、みんなと一緒にフラワーアレンジメントを行いました。「この花は下の方にある!」「ここに白いあじさいはどこにある?」「この花、いい匂いがある!」と人ひとり花に親しみながら楽しむ姿がありました。出来上がった花と、みんなで作った感謝の気持ちを示したカードを持って、教師が消防署を訪問しました。翌日、子どもたちに消防署の方々の様子を伝え、嬉しい気持ちを分かち合うことができました。

遊んでいる

「遊びの芽」エピソード：ハンバーガー屋さん



ホールで好きな遊びをしていた際、積み木で遊んでいたT君がお店の形に並べ、「いらっしゃいませ!」と呼び掛けていました。I君が「何屋さんですか?」と尋ねると「ハンバーガー屋さんです!」と答えました。2人のやりとりを見ていた他の子どもたちが「私も! 私も!」とどんどん集まり、お客さんと店員さんに分かち、ごっこ遊びを楽しんでいました。すると「ハンバーガーを作りたい!」という発案があり、制作遊びへと広がりました。このエピソードから友だち同士の間接による伝え合いの姿や、自分たちで実際に作ろうと考える、思考の芽生えの姿が見られました。教師は子どもたちの「したい!」が実現できるよう、材料を準備し、とんとん遊びが広がるよう声を掛けをしています。



ミニコンサート



ことり組に限り、初めてのミニコンサートを行いました。

6月上旬に群読を始めましたが、子どもたちの覚えるスピードは驚くほど早く、あ、という間にスラスラと言えるようになりました。初めは全員で声を合わせることを楽しんでいましたが、「人言えるかな?」と投げかけてみると、みんな自信満々の表情で返事をしてくれました。そこで保育参観見の日にミニコンサートをしようと思案すると、みんな目を見張かせ、「やったー!」と賛同する声があがり、緊張するけど頑張りたい!と意欲的な子どもたちの発案も見られました。当日は緊張する姿もありましたが、沢山の人の見知らぬ子どもたちなりに精一杯表現することができました。何より発表までの取り組みの過程で「群読や歌を通して、友だちと声を合わせる心地良さや楽しさを味わい、表現すること(自信を持ってやるようにする)」というねらいが達成できたことを嬉しく思います。